

「吉野川洪水意識調査」
アンケート分析結果を踏まえた今後の展望について

アンケート分析結果を踏まえた今後の展望について

- 災害時に適切な指定緊急避難場所を目指すことができる人は、流域全体で **3割**程度しかいないことが明らかになった。
- 命を守るためには、まず、それぞれの災害に応じて指定緊急避難場所を適切に把握することが必要不可欠である。最優先事項として、それぞれの指定緊急避難場所の周知を徹底することが重要。
- 上記を踏まえ、令和7年度までに流域全体で指定緊急避難場所の認知度について具体的な数値目標を設けて取り組んでいきたい。
- 具体的な数値目標としては、令和7年度に再度アンケートを実施し、流域全体、市町毎に**8割**を目標として設定し、各構成員で目標達成に向けて周知活動により一層注力していただきたい。
- 既存ツールの利用や、民間の協力など、ありとあらゆるリソースを活用していざという時にどこに逃げれば良いかを考えてもらうことにつなげられるように流域全体で広報キャンペーンをおこなっていくことが必要。

避難のためのハザード情報の整備

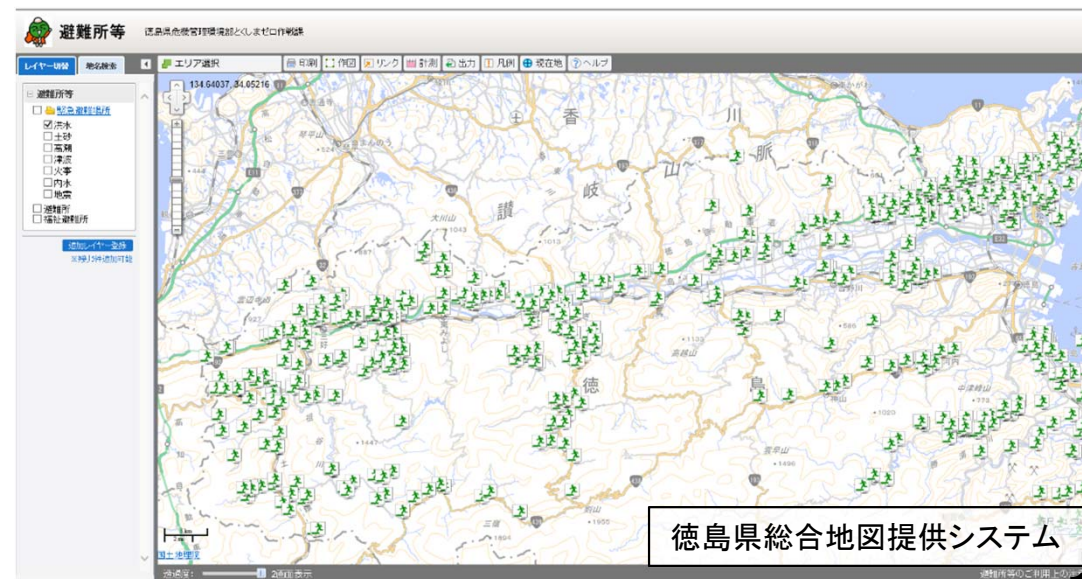
吉野川流域全ての市町における指定緊急避難場所の認知率

目標値

令和3年度時点
32.4%



令和7年度時点
80%



【キャンペーンの概要】

- 流域全体で、多くの方に目標をわかりやすく共有することを目的として、共通のロゴやキャッチコピーを作成し使用する。
- 現在実施している避難に関する各種取組についても、今回のキャンペーンの趣旨に則った取組としていく。
- 実際に避難場所へ足を運んでもらうことが最も効果的であるため、指定緊急避難場所に足を運んでもらうイベントを実施

【キャンペーンの進め方】

- 実施にあたっては、行政や関係機関はもちろんのこと、徳島県に所在する民間企業に対してもキャンペーン参画を依頼
- イベントについては、初年度はモデル市町を選定して取組を始め、そこで得た知見を踏まえて次年度以降に取り組みを拡大。